

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	知能コミュニケーション (中村 哲 (教授))		
学籍番号	1911132	提出日	令和 3年 1月 25日
学生氏名	関 直哉		
論文題目	Answer Selection in Opinion Factoid Question Answering 価値判断を伴うファクトイド質問応答		
要旨			
<p>ユーザはしばしば「糖尿病患者は何を食べるといい?」のように、何かをうまくやる、もしくは不適切なことを避けるための質問を発する。このような質問のうち、名詞句を回答とするものを、本研究では「価値判断を伴うファクトイド質問」(Opinion Factoid Question Answering, 以下OFQA)と呼ぶ。従来の質問応答システムでは、価値判断を伴うファクトイド質問には対応できない。その結果、例えば質問「糖尿病患者は何を食べるといい?」に対し、「ケーキ」といった不適切な回答が出力されてしまう。本研究では、日本語のOFQAデータセットを作成し、これを用いてOFQAのための質問応答システムを開発した。特に、価値判断を考慮していないファクトイドQAのデータセットや、一見、質問応答とは関連の薄い因果関係認識に関するデータセットを組み合わせることでBERTの学習を行うことで高い性能が発揮でき、この手法の精度はセンチメント分析等、複数の異なるタスク用の分類器/抽出器を組み合わせたパイプライン方式よりも精度が高かった。これらのパイプライン方式の開発では、価値判断の根拠を表す入力中の表現を特定する等の目的で追加的なアノテーション等も行ったり、すでにアノテーション済みの別データを利用したりしたが、それらの追加アノテーションや各種モジュールを使用しなくても、BERTがいわゆるend-to-endでより高い精度を達成できることが分かった。</p>			